

熊本放送文化振興財団事務局様

「語り座」公演ご報告

平成 29 年 5 月 27 日、寿咲流「語り座」熊本城復興祈願公演「運命の城」公演の際には、ご助成を戴きまして誠にありがとうございました。

お陰さまで、くまもと森都心プラザホールに 400 名近くのお客様をお迎えして、大好評のうちに終了致しました。

■お客様の感想

- ・「とても楽しく勉強になった。寿咲さんの熊本「愛」が伝わった。
 - ・「熊本の歴史を物語として解り易く語って戴き改めて熊本に誇りを持った」
 - ・「泣いて、笑って、勉強になって、歴女、暦男大満足、最高です」
 - ・「二部は、民話と踊りのコラボがとても楽しく、時を忘れた、寿咲さんのアイ婆ちゃん最高！」・「熱演に感動しました」
 - ・「解体で建物がなくなり寂しい思いをしていた時期に心の復興、ありがとう！」
 - ・「歴史ものに全く興味がなかった私が感動し、熊本の事を学びたくなりました。今だからこそ、熊本の重み、深さを胸に生きて行きたい。」
 - ・「語りとピアノ、箏の演奏のバランスがとても良かった」
 - ・「熊本にこんな人がいると初めて知りました、寿咲さんは熊本の宝です」
- などのご感想を戴きました。

■ご意見を戴く事は次へのステップの参考になるのですが、今回のアンケートには、ご意見、ご批判はありませんでした。

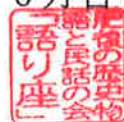
■昨年 9 月に行う予定だった公演が、地震の影響で延期となり、随分心配し、悶々とした日々を過ごしましたが、こういう時だからこそ古里に伝わる民話や歴史話を語ることが大切だと考え、それが実現できてホッとしました。

■第二部は、気楽に見てもらえるようにと考えプログラムを組みましたが、それを喜んで戴けて新たな活力が湧いてくるのと同時に、感謝の気持ちで一杯です。更に各地の話を掘り起こし「語り」でお伝えして行く所存でありますので、今後共よろしくお願い致します。

ここに事業決算書と当日のプログラムを添えてご報告致します・

平成 29 年 6 月吉日

寿咲流「語り座」創座長 寿咲亜似
肥後の歴史物語と民話の会 役員一同



〒861-4131 熊本市南区薄場 3-10-27

電話 096-358-4841

運命の城

寿咲流「語り座」熊本城復興祈願公演

その戦いは関ヶ原ばかりではなかった！
熊本城と宇土城、二つの城の物語が
寿咲亜似の語りで蘇る！



2017 5/27 土

13:30 開場
14:00 開演

くまもと森都心プラザホール

主催：肥後の歴史物語と民話の会「語り座」
助成：熊本放送文化振興財団、熊日文化スポーツ基金
後援：熊本県教育委員会、熊本市教育委員会、熊本県文化協会、熊本日日新聞社、NHK熊本放送局、RKK、TKU、KKT、KAB、FMK、FM791

祝 辞

熊本県知事 蒲島 郁夫

熊本城復興折願公演「運命の城」が盛大に開催されますことを心からお喜び申し上げます。

肥後の歴史物語と民話の会「語り座」におかれましては、熊本の歴史や民話を楽しく、分かりやすく伝えていくため、公演活動を精力的に展開しておられます。あらためて、深く敬意を表します。

今回の公演では、熊本城と宇土城を舞台に、加藤清正と小西行長の思いをつづる作品と伺っており、大変興味深く思っております。

さて、平成28年熊本地震では、熊本城も大きく傷つきました。私たち熊本県民が誇りとするこの熊本城を元の美しい姿に戻すことにより、地震からの復興のシンボルとしていと考えています。

熊本県では、「被災された方々の痛みを最小化すること」、「単に元の姿に戻すのではなく、創造的復興を目指すこと」、「創造的復興を熊本のさらなる発展につなげること」、この3原則のもと、昨年12月に「熊本復旧・復興4カ年戦略」を策定し、復旧・復興に向けた全力で取り組んでおります。より一層の御理解と御協力をお願い申し上げます。

最後に、本日の公演の御盛会と、「語り座」の皆様のみますの御活躍を祈念いたします。お祝い申し上げます。



がんばれアイ婆ちゃん

熊本県文化協会 名誉会長 小堀 富夫

寿咲亜似さんが、肥後の歴史物語と民話の会「語り座」を立ち上げられたのは平成21年。早いもので今年で満8年。その間の寿咲さんの活躍には驚くべきものがある。

加藤清正から柳川初期の殿様や宮本武藏などその時代に活躍した人々、更にその時代を背景に、土地土地を生かした歴史物語を寿咲流にアレンジし、日本舞踊や等として洋楽や芝居を交えた楽しい舞台を毎回繰り広げられている。

さらに県下各地の民話を掘りおこし、歴史物語と同様に自分で脚本を書き演じてこられた。勿論、家族をはじめ、応援する方々によってこそだが、その奮闘ぶりには正直な所驚嘆している。

今年の「語り座」のくまもと森都心プラザホールでの公演は、熊本城復興折願と銘打った公演だが、内容は例年通り一部が熊本県の「歴史物語～運命の城」。そして二部では民話と踊りの「アイ婆ちゃんのかんばるバヤイ」での構成。

一部の「運命の城」では、東軍加藤清正と西軍小西行長の明暗をかけた戦いを軸に、清正によって落城した宇土城に、昨年の地震で被災した熊本城を対比させ、清正と行長の思いを綴る物語が、寿咲さんの語りとピアノ・箏そして演劇でくりひろげられている。寿咲さんの語り以外の出演者は箏の藤川いずみさんや日舞の西崎緑嗣さんなど息の合った方々。

今日の公演の成功を期待すると共に、寿咲さんの今後の活躍を祈念いたします。



熊本の間ヶ原に期待

熊本県文化協会 会長 吉丸 良治

くまもと歴史がたり「運命の城」がくまもと森都心プラザホールで開催されることを心からお慶び申し上げます。

寿咲亜似さんは、くまもとの歴史はなしや民話を楽しくわかり易く伝えたいとの思いから2009年に肥後の歴史物語と民話の会「語り座」を立ち上げられています。これまで書きあげた脚本は、200を越えており、県内は勿論のこと、東京など県外でも広く語り続けられているのはすばらしいことである。

今回公演は、「運命の城」である。天下の覇権は、関ヶ原の勝敗だけで決したのではなかった。九州各地でも、熊本でも壮絶な戦いが展開されたが、意外と語られていない。今回「語り座」の座長 寿咲亜似さんが、東軍加藤清正と西軍小西行長の明暗をかけた戦いと両雄の、それぞれの深い思いを語ってくれます。これは、人と城の運命をかけた物語であるだけに、語りの中に演劇を入れ、さらに箏とピアノの生演奏で演出効果を高めようとする寿咲亜似さんの強い思いを感じるだけに、本公演の楽しみと期待は大きくなるばかりである。箏の藤川いずみさんやピアノの志姫慶香さん、それに日舞の西崎緑嗣さんなど、いずれも国内外で活躍している皆さんである。

熊本地震から一年が過ぎ、熊本城もいよいよ復興に立ち向かっている。熊本城は、熊本県民の心のよりどころである。一日も早い復旧・復興は、まさに県民の悲願である。

今回の熊本城復興折願をかけた公演は、誠に時宜を得た公演です。本公演の御盛会と「語り座」の益々のご発展を心から御祈念申し上げます。



ごあいさつ

肥後の歴史物語と民話の会 会長 小笠原 嘉祐

寿咲さん、地震を乗り越えやっと本公演に漕ぎつけられて良かったですね。

肥後の歴史物語と民話の会は、大切な文化遺産でもある各地域の歴史話や民話を後世に語り継ごうと積極的な活動を続けている「語り座」創座長の寿咲亜似さんを創設以来応援している会です。

寿咲亜似さんは、民話や歴史のふるさとを実際に訪れ、その土地の風土や雰囲気に触れて独自の物語を書き、子どもからお年寄りまで様々な年代の方に語って喜ばれています。これまでの本公演「清正をめぐる五人の女-花枯榎御殿巻」 「蛇の目九曜」 「武藏と殿様肥後屋」に続いて今回は4作目になりますが、今でも皆に親しまれている加藤清正に加えて、同時期に肥後の国を分かち合った小西行長にもスポットが当てられた事で、より深く歴史に触れることができると期待しております。

又「語り座」では歴史を訪ねるバスツアーも催し、本公演の前には横島に出かけて清正公の干拓のご苦勞を偲びました。このように熊本県の歴史・文化へのより深い理解と新しい魅力の再発見と熊本復興のために精力的に活動が続けている寿咲さんを本会はこれからも全力で応援して行く所存です。

ご来場の皆様どうぞご来場になつて寿咲さんの活動を応援して下さいますように心よりお願い申し上げます。



プログラム

【第一部】

ふるさとの歴史がたり「運命の城〜熊本の開ヶ原」

- 第一場 オープニング
- 第二場 宇土城
- 第三場 行長と清正の天草攻め
- 第四場 隈本城
- 第五場 朝鮮出兵での清正と行長
- 第六場 地震加藤
- 第七場 隈本での関ヶ原
- 第八場 宇土城の攻防
- 第九場 行長の最後
- 第十場 宇土城落城
- 第十一場 熊本城めぐり

【第二部】

民話と踊りで復興祈願 アイ婆ちゃんのくまもどがんばるバイ!

- 「肥後の殿様」…西崎緑祠(語り)
- 「日限りの地蔵」…梅木厚子(語り)
- 「薩摩相撲取り節」…西崎緑恭会(語り)
- 「武じやどん」…別府祐子、高橋喜久子、原口由美(語り)
- 「かねまさどん」…寿咲亜似(語り)
- 「キンキラキン」東雲節」…西崎緑恭会(語り)
- 「法華坂の重箱姿お」…寿咲亜似(語り)
- 「お陰参り」…西崎緑祠(語り)
- 「孟蘭盆会のためき踊り」…寿咲亜似、梅木厚子、別府祐子、高橋喜久子、原口由美(語り)
- 「ポンポコニヤ」…西崎緑祠、西崎緑恭会(語り)
- フイナール

出陣子/藤川いづみ

企画・構成・脚本/寿咲亜似
 演出/堀田清 舞台監督/山辺二郎 音響・照明/くまもと森都心プラザ 表紙・舞台絵/洲崎悠一
 衣装デザイン/寿咲亜似 衣装製作/別府祐子 小道具/高橋喜久子 制作協力/Comodo arts project

【肥後の歴史物語と民話の会「語り座」入会のご案内】

くまもとの歴史はなしや民話を楽しむくわかりやすく伝えていきたいとの思いから、2009年に肥後の歴史物語と民話の会「語り座」を立ち上げました。その応援の承、寿咲亜似が各所で公演を行い、語り手も少しずつ育っています。昔ばなし、関ヶ原、つた物語は、くまもと再発見に弾み、郷土愛を深めてくれます。民話と歴史はなしを語り伝える「語り座」をどうぞ応援してください。応援の箱が広がりますようにご入会をお願ひいたします。語りの会やイベントなど楽しい催しも一杯です。

〈会費〉団体会員/年会費105千円 個人会員/年会費102千円 (ご入会についてのお問合せ)事務局 096-358-4841 (洲崎)

ごあいさつ

「語り座」創座長 寿咲亜似

あの突然の揺れ！驚き、恐怖、不安…そして気がつけばどこもかしこもヒヤカチヤ、生きるのに精一杯！予定は皆キャンセル、悶々とする日々、そして思いました。

『こんな時こそ古里を思い古里の民話と歴史話を語りたい。』

すると、天から降ってきたように昨年10月まさに私の古里富合での公演、熊本市文化事業協会主催「寿咲亜似語り七変化」が実現しました。

まさに私の進む道はこれしかない！と今年は6回の清正公さん壱を企画して、今回は第3弾、本当はようこそおいで下さいました。第1部は、歴史に沿って語ります。第2部は聞いて楽しく観て楽しい民話と踊りのコラボです。笑ってください。

これからも古里くまもとの話を語っていきますので、応援よろしくお願いします。

出演者プロフィール

寿咲亜似(語り)

専攻座「語り座」創座長

2009年、肥後の歴史物語と民話の会「語り座」を設立。築1、2代目語り手として、自ら脚本を執筆。200以上の自主制作公演を、公演先の地域に合わせた話柄を語り続けている。花婿政徳殿梅田後藤川清正公さん、関ヶ原の公儀の他、ラジオテレビ等多多方面で活躍中。東京アパレル、ファッションデザイナー卒業、劇団「石JOB」、俳優、藤原孝氏に師事と演劇を神田紅氏は講義を師事、「清正公をめぐる五人の女」(本・CD)、CDドラマ「熊本のあきちゃん」話とさん話「運動」2008年「小さな親切」運動、内閣官庁庶務受賞。2015年信友社賞受賞。



内田よしひる(演劇)
 10代の強より劇団「石」にて演劇を始める。林原明子先生に師事。25年間劇団「石」にて演劇。その後フリーとなる。現在映画、ドラマ等に出演。フットボールマネージャー、アパレルデザイナー。



江鉄の助(演劇)
 劇団市民舞台所属

藤川いづみ(等)

等々のソリストとしてオーケストラとの共演やライブなど、ソロ演奏活動の他、TRINITY、日韓伝説オーケストラ、東芝などに参加。異ジャンルとのコラボレーションの可能性を追求している。音楽創造集団オーラ「1」メンバー。東京室内劇場、オムニバス「1」で新巻を担当。文化庁派遣により全国巡回海外招聘も。17年7月スペイン公演予定。



桑路ススム(演劇、声)
 高校演劇と地元劇団にて芝居の劇に、高校卒業後上京。10年間の活動後帰郷。活動再開。現在フリーの役者として、多数の地元劇団に寄演。舞台を中心とした「トラマ・CM・テレビ」等幅広く活動中。

志織慶香(作曲、ピアノ)

米田ベテリナー音楽院、映画音楽作曲科を卒業。シエラ、トナリ、ユウ、賞を受賞。音楽祭、映画など映画音楽を手掛ける。ともに、ピアノソロコンサートなどのコンサート、国内で開催。ヒューマン国際映画祭審査員特別賞「マツダアートピアノ」で新巻を担当。熊本県立音楽院を担当。



梅木厚子(語り)
 おはなしボランティアを始めて18年目。現在、学校図書館司書業務、福祉職員、専業主婦として手洗ひいらいなど、多岐にわたる活動。語りをする楽しいひと時の、つくりださなりたい。

語り座(座員)

別府祐子、高橋喜久子、原口由美

「寿咲亜似民話塾」で楽しく学んでいます。次回8月30日(4時)から、熊本県国際交流センターで開催予定。19・21の150民話125巻生熟出演の予定。あなたも塾生入りませんか？



西崎緑祠(語り)

高校卒業と同時に、東京、西崎流家元二代目西崎緑へ入門し、6年間に弟子として修行する。その後、西崎流師範を修得し、西崎流海外公演や多数の野外公演に出演。その後、熊本へ帰郷。築400年祭をむかへ、様々な文化祭主催のイベントに参加し、熊本の手紙館館長育成にも携わっている。